

# JUNGIDO

1898 = 高 = 1993

1998年は創立100周年です

## 滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝  
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会  
 大津市膳所 2-11-1 TEL 0775-23-2304  
 発行日/平成5年4月15日  
 編集人/広報部会・谷口啓司  
 印刷/有限会社服部印刷所

### CONTENTS

巻頭エッセー	1
平成5年度総会案内	1
大津市役所膳所高会に出席して	2
周年記念同窓会案内	2
同窓会活動報告	3
同窓会費納入のお願い	3
座談会「母なる琵琶湖を語る」	4・5
恩師訪問	6
OB近況報告	7
膳所高NEWS	8
母校拝見	8

# VOL.2

### 新入会員



### 「同窓会入会にあたって」

みなさんはじめまして。1週間前に膳所高校を卒業したばかりの、新会員の1人です。高校時代は先生方をはじめ、班活動の先輩、クラスの友人、総務部の後輩、その他いろいろな方に本当にお世話になりました。同窓会員になった今は、ずっと年上の方とも、また、20、30年たてばずっと年下の人とも膳所高校を通して知り合い、膳所高校の話に花が咲くだろうな

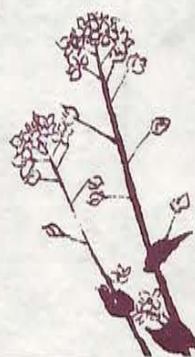
### 巻頭エッセー

### 随想

昭和4年卒業(膳中27回) 中小路健一郎

### 近江路や菜の花凡て立ち上がり

梅支



私は膳中昭和4年卒で、3年生まで近江八幡から汽車通学をしていました。前掲の句は当時を想起してのもので、その頃はいまのように電車ではなく、石炭を焚いてはしる蒸気機関車でした。トンネルに入ると煤煙が車内に充満し息がつまる思いでした。しかし、沿線の田圃は菜の花が一面に咲き、その間に蓮華の花が広がる花の絨毯でした。石山駅で汽車を降り、粟津の晴風といわれる松並木を通って学校まで歩きました。校門を入ると大きな桜の木があり、花の季節は見事な眺めでした。現在の校舎は建て替えられ、私達の頃のものと異なっていますが、場所と同じ遵義堂の跡であることには変わりなく、学校の伝統はそのまま受け継がれていると思います。「ふるさととは遠きにありて思うもの」という言葉がありますが、又「誰か故郷を思わざる」という歌もあり、故郷は誰にとっても懐かしい所です。私共のように遠く離れて暮らしているものにとりましては故郷は常に心のよりどころであります。殊に少年から青年への多情多感の時期を過ぎた中学生時代は何物にもかえ難い思い出です。同じ学校に学び、同じ自然のなかで育った同窓の友はそれだけで心にかよ



うものがあり、親しさを覚えます。同窓会はそのような私達を結ぶ絆であります。更に同窓会報はその絆の芯をなすものであると思います。私は関東膳所高等学校同窓会60年史の編纂にあたって同窓会創設当時の会報を読み、先輩諸賢の活動に大きな感動を覚えました。同窓会報は水続されねばなりません。これは同窓会活動の根幹であり、会員相互の親睦を図る横糸であると同時に私共が続く後輩諸君との間をつなぐ縦糸であると思います。したがって、この絆が太ければ太い程、同窓会はその力を増し、より確固たるものになるであります。どうか、せっかく復刊された同窓会報「JUNGIDO」を今後絶対に中断せぬよう、会員各位の一層のご協力を切にお願いする次第であります。

略歴

- ・明治44年4月16日 近江八幡市に生まる
- ・昭和4年3月 膳所中学校卒業
- ・昭和8年 静岡高等学校卒業
- ・昭和11年 京都帝国大学法学部卒業
- ・昭和12年 日本勧業銀行入行
- 宮崎 大津 東京駅前
- 京都 各支店長を経て、
- 常任監査役を歴任

平成5年卒業(膳所高41回)  
 京都大学医療技術短期大学看護学科  
 杉原 早苗



あと楽しみにです。卒業式の前日に同窓会の入会式がありました。同窓会副会長が挨拶をされ、楽しいお話の中からも、膳所高校に対して深い母校愛を持っておられることがしっかり伝わってきました。私は今はまだ同窓会員の実感がありません。でも春の高体連の頃には、新聞を見て、「ニヤツ」としてしまおうOB(OGかな?)の一人に仲間入りさせていただいていると思います。

### 会費納入ありがとうございました。

### 同窓会会費納入状況

昨年末から納入いただいております、平成4年度の同窓会会費は、平成5年3月15日現在、

総額 **24,690,000円**

に達しました。

卒業年別納入状況を4、5ページに掲載しました。会員の皆様のご理解に感謝すると共に、ますますのご協力をお願いいたします。未納の方は、同封の振替用紙にてお送りください。くわしくは3ページをご覧ください。

(財務部会)

同封のハガキにてご出欠をお知らせください。

- 講演 「弁護士の世界あれこれ」  
 講師 竹林節治氏 (昭和28年卒) 日本弁護士会副会長  
 近畿弁護士会会長
- 懇親会 懇親会に出席される方には会費として8,000円を当日徴収させていただきます。
- 講 演 平成4年度会務報告  
 各分会報告  
 会計報告並びに  
 会計監査報告  
 年会費運用について  
 役員改選について  
 その他
- 日 時 平成5年5月9日(日)  
 午前9時30分受付開始
- 場 所 大津市生涯学習センター大ホール  
 (大津市本丸町 湖岸通り膳所公園前)
- 講 事 平成4年度会務報告  
 各分会報告  
 会計報告並びに  
 会計監査報告  
 年会費運用について  
 役員改選について  
 その他

### 平成5年度 同窓会総会

多数のご参加をお待ちしています。

平成5年度 同窓会のお知らせ

この数年、会則改正・組織再編と大きな変革が続きました同窓会活動も、多くの会員諸氏のご協力を得て、無事軌道に乗って参りました。会費納入や名簿発行などの事業を通しましたが、いっしょに同窓会に対する関心、期待が高まりつつあることを感じさせられます。

このような気運の下、平成5年度の同窓会総会を左記の要領で開催いたします。例年この総会には多くの方のご出席をいただき、旧交を温めると同時に新しい時代を迎える同窓会活動のあり方を探る場としても非常に有意義な場となっております。今年もどうぞ多数の方々のご出席をお願いいたします。



# 大津市役所膳所高会に 出席して



去る2月10日夕刻より、大津市役所膳所高会の総会が琵琶湖ホテル瑠璃の間に於て、盛大に開催されました。昭和20年代に卒業生が集って会が結成されて以来、200名に垂んとする会員数を擁する会へと発展され、今年の総会は既に40回を越えることになりました。今回、会員の過半数にあたる100余名の同志が一堂に会されての盛況を直接お見せいただき、本校同窓会ならではの有難さと名状し難い感慨を覚えました。

冒頭、谷村芳郎会長は「近づきつつある母校創立100周年をどのように迎えるかを鑑み、母校の発展を希い貢献しようと努めることは、即会員各位また職域の成長発展と軌を一にするものであり、今後より一層の協力態勢を強めてゆきたい」旨、ご挨拶になりました。筆者は同窓会事務局の立場から、100周年への布石について、会報第1号に報じられておりますような最近の活動状況を手短かに報告させていただきます、会費納入、資料収集などのご協力をお願いいたしました。

本同窓会の今後のご活躍とますますのご発展を、心からお祈りする次第であります。

(藤田健三)



## 周年同窓会 予告

多数の  
ご出席を  
お待ちしております。



昭和18年卒業(膳所41回)

毎年11月第3日曜日

代表世話人 尾松 譲氏

TEL0775・22・3210

昭和20・21年卒業(膳所43・44回)

平成5年6月5日(土) 大津プリンスホテル

世話人 高土礼二郎氏

TEL0775・22・6557

昭和26年卒業(膳所49回)

二六会

本年夏 開催予定です

昭和32年卒業(膳所高5回)

平成5年11月14日(日) ロイヤルオークホテル

代表世話人 三宅忠義氏

TEL0775・37・4965

昭和33年卒業(膳所高6回)

平成5年11月14日(日) 大津プリンスホテル

世話人 山極元信氏

TEL0775・25・5789

昭和38年卒業(膳所高11回)

卒業30周年記念同窓会

平成5年9月12日(日) ロイヤルオークホテル

実行委員長 小笠原勇氏

事務局 北井征曉氏

TEL0775・78・0124

昭和48年卒業(膳所高21回)

卒業20周年記念同窓会

平成5年8月14日(土) 午後2時、ロイヤルオークホテル

事務局 富波義明氏(膳所高校)

TEL0775・23・2304

会費 12,000円

第1号の予告欄に昭和47年卒業となっていました。

昭和48年卒業の(膳所高21回)の間違ひです。

お詫びして訂正いたします。

本欄を同窓会連絡用として

有効にお使いください。

## O B 会 O G 会 組織の状況

現在、体育関係のOB会は、各部とも現役に負けない積極的な活動を行なっています。未加入の方のご参加を待ちしています。

### 体育部の巻2



種類	組織 図	会長 名	会員数	主な 活動 内容
馬術	馬術部 O・B 会	川口 康男 (東2)	約60人	名簿 (現在組織作り中)
軟式庭球	軟式庭球部 O・B 会	小瀬 博之 (膳32)	約150人	名簿・練習会
軟式庭球	波多野会	竹内 宗男 (膳13)	約500人	名簿・練習会
ヨット	ヨット部 O・B 会	堤 章 (東4)	約50人	現役支援活動
卓球	卓球部同友会	人見 陽一 (東4)	約150人	総会・名簿・会報 (同友会報)・文歡会
柔道	柔道部同窓会	未 定	約300人	名簿 (現在組織作り中)
剣道	剣道部 O・B 会			現在組織作り中
体操	体操部 O B 会			現在組織作り中

### がんばってます!

昭和48年卒業(膳所高21回) (有)木田商店 専務取締役 木田比登志	(株)桑清電設 代表取締役 桑村 清一	(有)立岡写真館 代表取締役 立岡 功成	大津マル牛(株) 常務取締役 田中 康雄	(株)中西土建 代表取締役 中西(辻)壮一郎	(株)萩乃家 専務取締役 萩山 平	(株)建築事務所BCY,S 専務取締役 山本 勝義	金田医院 金田(漣)義子	第一号の広告の中で卒業年と回に 間違いがありました。お詫びして 訂正いたします。	昭和31年卒業(大津東4回) 竜谷寮 京都市山科区上山坂尻8・18 TEL0775・593・9561	昭和31年卒業(大津東4回) 榎福井商店 専務取締役 福井 善三	昭和36年卒業(膳所高9回) 琵琶湖法律事務所 弁護士 植山 昇	昭和36年卒業(膳所高9回) 大平開発株式会社 代表取締役 大平 忠良	昭和36年卒業(膳所高9回) 八幡公認会計士事務所 公認会計士 八幡 知行
--	---------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	-------------------------	---------------------------------	-----------------	--	---	---	---	--	--



# 同窓会活動報告

100周年にむけてみなさまのご協力を!



## 会費未納の方へ

滋賀県立膳所高等学校同窓会  
平成4年度年会費納入のお願い

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。  
平成4年度会費未納の方は同封の振替用紙にて納入ください。  
なお、住所等に変更がある方は振替用紙の裏面にご記入をお願いいたします。

記	
〔会費額〕	年会費 3,000円
	5年会費 15,000円
	10年会費 30,000円

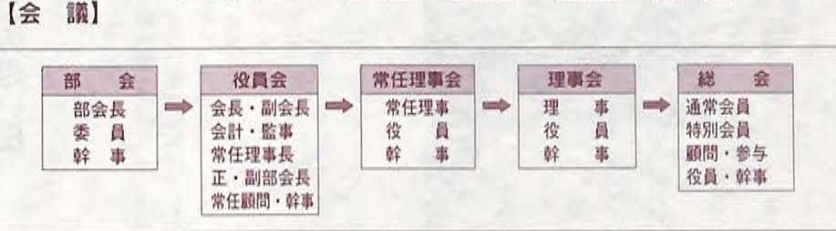
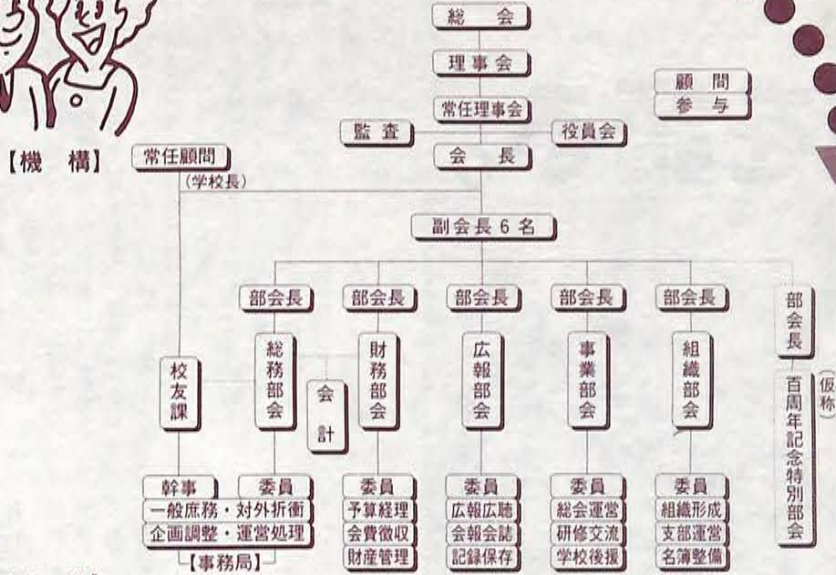
いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。

新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

〔納入機関〕(振替用紙は共通です。)

郵便局	京1 30378		
銀行	滋賀銀行	本店 (110)	普 913381
	びわこ銀行	本店 (111)	普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。



平成4年度膳所高等学校同窓会役員名簿

総務部	梅村俊二 (膳16)	新川均 (膳12)	佐田肇子 (膳14)	田中義彦 (膳4)	山田勲 (膳11)	堀口文雄 (膳1)	澤正二 (膳3)	遠藤系子 (膳3)	渡藤兵衛 (膳4)	川又良次 (膳5)	中村安男 (膳6)	畑中昇 (膳8)	笠正人 (膳17)	藤田健三 (膳11)	富波敦子 (膳21)	山本雅弥 (膳21)	西川綾子 (膳28)
組織部	宇野勝 (中35)	宇野敬一 (中41)	岡角憲次 (大1)	上野滋子 (東2)	石川孝 (東3)	阪田順 (膳8)	松平智康 (膳12)	東郷利夫 (東2)	沢井孝子 (東2)	百岳光好 (通32)	飯田勝一 (東41)	高城宗秋 (東2)	谷口啓司 (膳10)	織田勝美 (東1)	今市信夫 (東2)		
監査	宇野勝 (中35)	宇野敬一 (中41)	岡角憲次 (大1)	上野滋子 (東2)	石川孝 (東3)	阪田順 (膳8)	松平智康 (膳12)	東郷利夫 (東2)	沢井孝子 (東2)	百岳光好 (通32)	飯田勝一 (東41)	高城宗秋 (東2)	谷口啓司 (膳10)	織田勝美 (東1)	今市信夫 (東2)		
常任理事	宇野勝 (中35)	宇野敬一 (中41)	岡角憲次 (大1)	上野滋子 (東2)	石川孝 (東3)	阪田順 (膳8)	松平智康 (膳12)	東郷利夫 (東2)	沢井孝子 (東2)	百岳光好 (通32)	飯田勝一 (東41)	高城宗秋 (東2)	谷口啓司 (膳10)	織田勝美 (東1)	今市信夫 (東2)		
役員	宇野勝 (中35)	宇野敬一 (中41)	岡角憲次 (大1)	上野滋子 (東2)	石川孝 (東3)	阪田順 (膳8)	松平智康 (膳12)	東郷利夫 (東2)	沢井孝子 (東2)	百岳光好 (通32)	飯田勝一 (東41)	高城宗秋 (東2)	谷口啓司 (膳10)	織田勝美 (東1)	今市信夫 (東2)		
部会	宇野勝 (中35)	宇野敬一 (中41)	岡角憲次 (大1)	上野滋子 (東2)	石川孝 (東3)	阪田順 (膳8)	松平智康 (膳12)	東郷利夫 (東2)	沢井孝子 (東2)	百岳光好 (通32)	飯田勝一 (東41)	高城宗秋 (東2)	谷口啓司 (膳10)	織田勝美 (東1)	今市信夫 (東2)		

## 事務局日誌

1・30	広報部会
2・5	総務部会
2・16	広報部会
2・27	第3回役員会
3・5	平成4年度卒業生同窓会入会式
3・17	膳所高校体育館全日制514名通信生55名
3・21	広報部会
3・30	総務部会
4・5	財務部会
	第2回常任理事会
	於 アヤハレック
	サイドホテル
	広報部会
	組織部会

### 組織部会よりお願い

皆様の地域、職場、そしてグループで、それぞれにご活躍されている膳所高会の動向をアンケートしています。それらの事務局局長や世話係の方々へお願い致します。名称、メンバーの構成、会員数、行事の内容等々を同窓会の組織部会までお知らせください。

### 同窓会事務所(クラブハウス1階)の使用について

昨年4月にクラブハウスの1階を改築して作られました同窓会事務所。もうご覧いただきましたでしょうか。また、本棚も埋まりきらない、新築の香の残る一室ですが、この一年間、役員会や各部会などを中心に多数の方にご利用いただき、同窓会活動の拠点として定着しつつあります。今後は母校の創立100周年を控えて、より多くの同窓生の方々がここに集い、熱気ある活動を繰り広げていただけることを楽しみにしています。母校においては、ぜひ一度お立ち寄りください。なお、ご使用の際には次の点にご留意ください。

- ご使用の際には、事務所内の台帳に必要事項をご記入ください。
- 鍵は校友課で保管しています。(不在の時には事務室でもお受け取りいただけます。)
- 使用日時は、事前に校友課までご連絡ください。

### 卒業生文庫

第1号投稿欄に掲載されました、小林博氏からの「母校に卒業生文庫を新設する運動」の呼びかけに応じて、続々と会員の著書が寄贈されつつあります。その一部をご紹介しますと共に、会員の皆様より一層のご協力をお願いします。(卒業生文庫寄贈目録) (敬称略)

三浦純二 「膳所高等学校同窓会史明治編」  
中神良太 「近江の浮世絵版画 第2輯」  
板倉秀 「山崎宗鑑」  
小林博 「幸いうすき人」  
歌集「散砂」「海ゆかば」  
「近江の街道」「河内地域史」  
「空からみた都市景観」他  
川崎源 「フランクリンの教育思想」  
「西洋教育史」他  
「近江宗教彫刻論」  
宇野茂樹 「仁風さつさつ1町長20年の足跡」  
服部純夫 「原色日本菌類図鑑」  
本郷次雄 「日本のきのこ」他  
「神像―ものと人間の文化史28―」  
景山春樹 「比叡山寺」他

他にも多数の方から寄贈をいただいています。なお、ご寄贈いただく際には、同窓会事務局(膳所高校内)までお知らせください。



# Zezeko News



# 科学賞の入賞回数は全国第一位。

物地班 化学班 生物班

【指導下さったお二人の先生方にもご出願いただきました。ありがとうございます。母なる琵琶湖を語る】という広大なテーマですが、皆さまの勝所高時代の班活動、琵琶湖についての思い出などたくさんに語って愉快に盛り上げていただければ幸いです。

## BRS (琵琶湖研究会) とその伝統

【新制度の高等学校が発足してしばらくの間、勝所高(当時は大津高校)には物理、化学、生物、地学の4つのクラブがあったが趣味のクラブにとどまっていた。そこで若い教師が集まって、何とか本格的な研究活動が出来ないものかと相談し、4班協同して琵琶湖を調査しようということになりました。でも道具も金もなく透明度板とプランクトンネット、それに八耳順郎先生が考えた自作の採水器だけが調査用具でした。昭和27年のことでした。理科の教員は皆若く、1人年配の馬場七郎先生が上手に束ねて下さったのでした。BRS (琵琶湖研究会) と名付け、生徒も教員も意気盛んでした。3年ほど続けたと思えます。調査結果は日本陸水学会で発表しました。文部省から研究費を交付されたこともありましたが、調査に行き詰まりを感じるようになり、残念でしたが合同調査は取りやめました。その時の研究費で購入した採水器や採泥器が、今でも理科室のどこかにはあります。

【用いた湖底泥の研究でした。以後、両班競争して仕事をしました。科学賞は、地方調査を経て東京で審査され、入賞作品と入選作品が決まります。入賞は全国で40校、入賞は7校(後に8校)です。野球に例えれば甲子園出場、入賞はベスト8進出でしょう。昭和39年に化学班が初めて入賞を果たし、表彰式の後、代表が皇居に招かれています。全国第3位の科学技術庁長官賞でした。入賞を目指して仕事をするのは邪道でしょうか、励みになるのは確かです。両班の研究活動は今でも続けられ、昨年は化学班が、今年も物地班が入賞しています。今年で37年目だと思えますが、この間に15回入賞し、10回入選しています。回数では恐らく全国第一位だと思います。



【大物の故林浩校長時代、おやじの貫禄の馬場先生の羽の下で、八耳先生と自由闊達に遊んでいました。今日は故八耳先生に代わって話したい。林校長は旧制浪速高校教授から来られた方で、諸先生方と共に旧制高校の良さやこの学校にも広げ、人を育てようという学校に、生徒に研究らしいものを持たせたいという情熱に溢れた、素晴らしい時代でした。わたしも先生方の熱風を巻き込まれ、BRSの仕事では琵琶湖に出て、慣れない船を漕いだものです。

## 班活動の思い出

【教室と化学班を往復しているような学校生活でした。学者肌の目片、長尾、小田先輩、生物班では森川君が頑張っていました。何日も徹夜で、2時間毎に湖水の分析をしたことを思い出します。今の琵琶湖環境問題を考えると、続けてやるのが大事ではなかったかと思えます。高杉、BRS時代の化学班でしたが、分析が楽しみで通学してはいたのです。6日間徹夜で分析を続けて、人間、立ったままで眠れるものだという体験をしました。水が今よりうんときれいな頃に水の問題で研究していたのに、今の琵琶湖は情けないという



【田中 勝所高の化学班には優秀な人が集まっていたという姉の助言で入部。1年の時、嶋村、渡辺、原田、小田諸先輩から分析の手ほどきを受け、2年の時は大津市の井戸水の分析、3年になって雄略の地下水のフッ素イオンの調査。その結果を日本学生科学賞に応募して県で最優秀賞を受賞、青春の一番楽しい時期でした。その時いただいたメダルは僕の宝物です。



【化学班で化学が好きになり、物理も好きだったので大学は両方させる化学機械に飛び込みました。今は、環境問題に関係のあるプラスチックのリサイクル、ハイテックの研究開発をしています。高校時代の班活動が今の支え、ベースになっていると感じています。

【八耳先生とは亡くなられたるまで交流が続きました。先生の提案で、河川水の湧き出る所から琵琶湖に注ぐ河口までの水質調査をしました。夏休みにビールの空きびんや酸欠びんを持って、比良山系の河川や犬上川、醍が井、河内の風穴まで採水を行ったのが強く印象に残っています。分析項目は水温、pH、フッ素など10数項目。その分析結果を近畿陸水学会で発表しました。徹夜で表や図を模造紙に書いた記憶があります。環境問題の面から、その結果を今の高校クラブで生かしたいと思いつき、当時の資料を勝所高で探してもらったのですが、少ししか残っておらず残念でした。現在、地元の大津立高校に勤務しています。

## 理科班のミニ同窓会

# 母なる琵琶湖を語る。



出席者(敬称略)  
 岡田 節夫 (昭和25年4月19日卒)  
 谷本 岩夫 (昭和28年4月29日卒)  
 嶋村 弘 (昭和31年卒)  
 高杉 幸江 (昭和31年卒)  
 武田 栄夫 (昭和33年卒)  
 田中 克二 (昭和33年卒)  
 馬場 隆信 (昭和36年卒)

1993年2月27日(土) 13時15分  
 J.R.石山駅から徒歩5分、勝所高同窓生の経営されているお食事処「万里也」にて、かつての理科班をご指導下さった先生方と班員の皆さまとで、母なる琵琶湖を語るのテーマによる座談会を行いました。理科班のミニ同窓会という感じで、時が経った感じがして、紙面の都合上、一部分のみ紹介させていただきます。詳しくはご協力ありがとうございました。(花坂)

## ふるさと琵琶湖

【武田 琵琶湖には「こぶな釣りの川」の懐かしい思い出があります。もうこぶな釣ったり、しじみやさきがに採ったり。嶋村 子どもの頃は、遊ぶといえば琵琶湖で泳ぐか釣りの下校して玄関に靴を脱いで、今の子どもは人工的に作られた湖畔で可哀そうです。谷本 子どもは頃の里の琵琶湖の浜で魚とりを楽しんでいました。田中 今は湖畔道路になっているので、よく夜中にも釣りをしました。親を心配させながら。谷本 勝所高に来て初めて鮎寿司の味を知りました。昨今はブラックバスで鮎が少なく、随分高価ですね。嶋村 あの時、魚の生態系をやっていたら、今頃役立っていたかもしれませんね。岡田 貝の研究もやらなかった。専らプランクトンでしたね。

## 個性豊かな名物先生たち

【高杉 馬場先生にへびやカエルが入った「やみ汁」をご馳走になった記憶があります。嶋村 授業中にへびの食べ方を教えてもらったり。武田 先生の授業は、脱線脱線が授業よりはるかに面白かったです。後の15分だけが授業だった。谷本 馬場、八耳、岡田の先生方は生徒の成績を上げようなんて考えもされなかった。大げさに言えば人生の大切さを教えておられたのです。岡田 生徒の質がよくなったからできたのでしょうか。高杉 もっといい授業を、と授業をホイホイして先生を泣



【かされたこともありましたが怒られなかったです。岡田 特別なことでもない限り林校長は教師を怒らなかつた。嶋村 修学旅行で、酒を飲んで集合時間に遅れた時は、林校長が生徒を1人ずつ呼び出して集めた。人に迷惑をかけたから、酒を飲んだことは触れず。田中 他に迷惑をかけたのをやめてよ、という自由な雰囲気があった。信頼されていたのでしようね。琵琶湖環境・勝所高への期待

【高杉 個性豊かな名物先生がおられた。本名よりあだ名で覚えていました。スコッチ、カッパ、ギース、げた、フランケン。誇れる先生が多かった。岡田 いろんな教師を自由にさせていた。林校長が偉かった。私たちが、お釈迦様の掌の中で暮らしていた孫悟空と同じだったのではありません。高杉 もっといい授業を、と授業をホイホイして先生を泣

【はいけない。私は、科学技術者であるよりも先に人間であらうと思っています。そうすれば当然、環境保全が大事なものと認識されていくと思う。科学技術に携わる者として、破壊した環境を少しでも元に戻す責任を感じています。武田 今まで技術がオールマイティという色合いが濃く、自然を征服するかのような驕った部分を生み、ちくはく物の豊かさをもたらした。結果、環境に大切なものを失ってしまいました。結果、精神的にも、市民のひとりひとり、人と自然の和を求めて模索していくべきでしょう。自然は目に見えない文化遺産。次代のために、行政、学校、地域、家庭が手をつなぎ、自然を守りながら生活を維持していくことが大切です。若い世代の人たちは、人と自然の和が大切という認識を持って、これからのクラブ活動に頑張ってください。谷本 継続的にやる、やってみること自体が大切です。今や持っていることに疑問があっても積み重ねが50年、100年後

【武田 私の頃にはBRSの研究は途絶えていました。田中君などと相談して、3班合同のBRSの復活を企てましたが実現しませんでした。在学中は一貫して気象観測をしました。そのせいかわかると、今は日本気象協会(大阪)勤務で、NHKテレビの夜6時50分からの天気予報を担当しています。古い木造校舎の屋上観測所から見た季節や時間帯によって変化する琵琶湖の色、対岸の草津、守山の菜の花のまっ黄色が印象に残っています。現在、自然保護運動の底辺を支える意味で子どもを対象に自然観察に関わっています。目の前の琵琶湖にも何らかの形で関わっていきたいと思います。

【嶋村 皆さまには、長時間にわたりお話しいただきありがとうございます。懐かしい思い出と同時に、当時の班活動で学んだことが、何らかの形で現在の私たちに生きているという思いがします。琵琶湖を含めた環境問題については、「自然の中で生かされていく存在」であることを謙虚に認め、ひとりひとりができることから一歩進めたいと思います。母校の後輩の皆さまが、このことをしっかりと認識して、ますます活躍されますよう祈っております。本日は誠にありがとうございました。

【谷本 手作りです。それが原点です。現在、野球、サッカー、ラグビーも飛び入りは強くない。理科班も人数が少なくて、しかし一生懸命やっています。この伝統を守ってほしい。岡田 以前に教えずから、「勝所高時代、装置も実験方法も自分で苦労して考え、何回も壁に突き当たりながら研究した。あの時の経験が今の私を支えています」という嬉しい手紙をもらったことがあります。勝所高には、手作りの研究IBRSからの伝統があります。この伝統を守ってほしいものです。

【嶋村 皆さまには、長時間にわたりお話しいただきありがとうございます。懐かしい思い出と同時に、当時の班活動で学んだことが、何らかの形で現在の私たちに生きているという思いがします。琵琶湖を含めた環境問題については、「自然の中で生かされていく存在」であることを謙虚に認め、ひとりひとりができることから一歩進めたいと思います。母校の後輩の皆さまが、このことをしっかりと認識して、ますます活躍されますよう祈っております。本日は誠にありがとうございました。

【谷本 継続的にやる、やってみること自体が大切です。今や持っていることに疑問があっても積み重ねが50年、100年後

## 卒業年別平成4年度 同窓会費納入状況

卒業年	納入者数	納入金額合計
大正4年(離中)	1名	3,000円
大正5年(離中)	0名	0円
大正6年(離中)	0名	0円
大正7年(離中)	0名	0円
大正8年(離中)	0名	0円
大正9年(離中)	0名	0円
大正10年(離中)	3名	33,000円
大正11年(離中)	1名	15,000円
大正12年(離中)	2名	18,000円
大正13年(離中)	4名	51,000円
大正14年(離中)	6名	42,000円
大正15年(離中)	5名	27,000円
昭和2年(離中)	3名	33,000円
昭和3年(離中)	5名	27,000円
昭和4年(離中)	6名	42,000円
昭和5年(離中)	7名	75,000円
昭和6年(離中)	9名	45,000円
昭和7年(離中)	5名	51,000円
昭和8年(離中)	8名	72,000円
昭和9年(離中)	11名	105,000円
昭和10年(離中)	11名	93,000円
昭和11年(離中)	10名	168,000円
昭和12年(離中)	15名	165,000円
昭和13年(離中)	19名	219,000円
昭和14年(離中)	18名	177,000円
昭和15年(離中)	14名	153,000円
昭和16年(離中)	13名	348,000円
昭和17年(離中)	21名	225,000円
昭和18年(離中)	28名	567,000円
昭和19年(離中)	26名	291,000円
昭和20年(離中)	70名	768,000円
昭和21年(離中)	5名	39,000円
昭和22年(離中)	36名	390,000円
昭和23年(離中)	14名	195,000円
昭和24年(離中)	15名	51,000円
昭和25年(離中)	13名	132,000円
昭和26年(離中)	42名	141,000円
昭和27年(離中)	46名	405,000円
昭和28年(離中)	84名	135,000円
昭和29年(離中)	42名	864,000円
昭和30年(離中)	55名	417,000円
昭和31年(離中)	46名	576,000円
昭和32年(離中)	76名	849,000円
昭和33年(離中)	56名	600,000円
昭和34年(離中)	67名	624,000円
昭和35年(離中)	70名	681,000円
昭和36年(離中)	61名	777,000円
昭和37年(離中)	51名	645,000円
昭和38年(離中)	57名	753,000円
昭和39年(離中)	72名	615,000円
昭和40年(離中)	52名	741,000円
昭和41年(離中)	77名	603,000円
昭和42年(離中)	57名	579,000円
昭和43年(離中)	72名	495,000円
昭和44年(離中)	54名	321,000円
昭和45年(離中)	26名	633,000円
昭和46年(離中)	54名	480,000円
昭和47年(離中)	49名	558,000円
昭和48年(離中)	45名	543,000円
昭和49年(離中)	44名	339,000円
昭和50年(離中)	35名	483,000円
昭和51年(離中)	25名	264,000円
昭和52年(離中)	39名	348,000円
昭和53年(離中)	36名	306,000円
昭和54年(離中)	33名	321,000円
昭和55年(離中)	31名	354,000円
昭和56年(離中)	37名	294,000円
昭和57年(離中)	41名	294,000円
昭和58年(離中)	36名	294,000円
昭和59年(離中)	43名	375,000円
昭和60年(離中)	29名	246,000円
昭和61年(離中)	49名	291,000円
昭和62年(離中)	26名	129,000円
昭和63年(離中)	35名	276,000円
平成元年(離中)	35名	303,000円
平成2年(離中)	34名	300,000円
平成3年(離中)	38名	234,000円
平成4年(離中)	29名	159,000円
旧職員	25名	252,000円
納入者総数	24	690,000円
総額	2	4,222名

【ご協力ありがとうございました。創立100周年にむけて、今後ともご理解ご協力をよろしくお願い致します。財務部会

# 班活動で学んだことが、今、生きていく。



【「お名前広告」募集しています。掲載内容/卒業年度・卒業回、勤務先・お名前・住所・TEL/一件一万円。お申し込みは同窓会広報部まで。



# 恩師訪問

## 小笠原保信先生

### 教員になって悔いはない……。



小笠原保信先生略歴  
 ・昭和23年3月京都帝大工学部電気工学科卒業  
 ・滋賀県立膳所高等学校通信制全日制教諭  
 ・滋賀県立草津東高等学校教頭  
 ・滋賀県立石山高高等学校教頭・同校長  
 ・滋賀県立膳所高等学校13代校長

「春は名のみの風の寒さよ」と「早春賦」に謳われているような2月14日、膳所高校に永くご在職になられ、その後、第13代校長先生を勤められた小笠原保信先生を琵琶湖にほど近い打出浜のお宅に訪ねました。

膳所高・膳所高生についてどういふ印象をお持ちでしょうか。

「第6代の林浩校長が優秀な先生方を招いておられました。学問的に優秀なばかりではなく、それ以上に生徒の面倒見のよい先生が多く、生徒たちも恵まれていたと思います。」

私が教師になったのは昭和23年、学制改革の年でした。旧制度では、高校から帝大に進むコースがありました。膳所高にはそれに非常によく似たムードがありました。学力的にも非常に優秀な生徒が多く、生徒同士が切磋琢磨し、人間的にも成長できるよい環境だったと思います。教員としては大変やり易く毎日楽しんで勤務できる状況でした。本当により学校だと思いません。旧制高校を思わせる学校という感じがしました。「膳所高同窓会報」第1号で松山先生が同じようにおっしゃっておられました。

僕は富山県の高岡中学の出身です。膳中は県立第二中学で高岡中学も第二中学でした。第二中学というのは先に創立された第一中学に負けないように一生懸命やるところがあつて、将来的には第二中学の方が伸びているようです。膳所高にも同じような雰囲気があり、僕自身よかったですと喜んでいました。

膳所高は理科系に強いといわれていますが、「理科系が強いのは理科系に立派な力のある先生が多かったためだ」と思います。林校長は専門が化学で理科の諸先生方と一緒に旧制高校のよさを理科教育にも生かそうとされたからだと思います。数学や理科に優秀な先生方が多く、中でも岡田節夫先生は物理地学班を、故八耳順郎先生は化学班を担当され、いつも夜8時頃まで学校に残られ生徒の研究の面倒を見ておられました。



た。それに比べて生徒たちが一生懸命やったことが県下はもちろん中央(日本学生科学賞)での数々の優秀な受賞となり、それがひき継がれ、理科に強い膳所高につながったのだと思います。また、あのお2人は非常に仲がよかつたので八耳先生が早く亡くなられ、岡田先生はお淋しいことだと思います。」

教員になられてのご感想は。

「いつだったか文化祭の後に学級新聞を作りました。そこに「教員になって悔いはない。どんな仕事でも一生懸命したらよいと思う。」というようなことを書きました。今もそう思っています。膳所高で数学や物理を教えたのは教え甲斐がありました。膳所高に望まれることは。」

「昔から文武両道と言われますが膳所高は勉強だけでなくクラブ活動やスポーツをやっているのも勉強と両立できる学校だと思います。」

学校では行事のある毎に生徒に話す機会がありましたので、私たち教員の気持ちは自然と伝わったと思います。



ます。生徒自体よりも、教師がいかに生徒の面倒をよく見るかということの方が大事ではないでしょうか。現在は転勤が早くなかなか難しいと思いますが、「同窓会へのご提言がありましたら。」

「熱心をやっておられるので敬意を払っています。会長、副会長も熱心な方で副会長の宇野敏一さんは大学時代の先輩後輩ですと親しく付き合っています。専門が一緒でした。新しくできた組織で100周年に向けて頑張つてやっていたらいいと思います。同窓会の会報も大変大事だと思います。」

ご趣味はとのおたずねしますと「囲碁でしょうか。」とその部屋に置かれた立派な碁盤に目をやられてニコニコされていました。先生は私たちの質問に始終笑顔で穏やかに答えて下さり、そのお話しのはしはしから教育者としてのひたむきな信念をうかがうことができました。

現在は悠々自適の毎日だそうです。このような優秀な先生に恵まれた幸せを感謝しつつお宅を後にしました。先生のご健康をお祈りしています。(佐田)

### 同窓生投稿欄

#### 能楽師から

#### 吉浪寿晃 昭和59年卒業(膳所高32回)

私は膳所高OBで能楽を志している者です。在学中は勉強も部活動(バスケットボール)もまわりについてゆけただけで精一杯でしたが、膳所高(特にクラブ活動)で培った精神が現在能楽師としての自分にとって根本となっている様な気がします。

このようなOBがいるという事を知っていただき、お一人でも多く能楽に触れていただければ幸甚に存じます。

吉浪寿晃独立披露能  
 平成5年8月7日(土) 11時始 於京都親世会館

#### 能 鶴 亀

(鳥 龜) 井上嘉久

#### 能 石 橋

(童子) 吉浪寿晃  
 (赤子) 井上裕久

その他 狂言・仕舞

観能券 6,000円 学生券 3,000円  
 お問い合わせ先 大津市藤尾町20の12  
 吉浪寿晃

0775(22) 5520まで

#### 略歴



昭和59年3月卒業(膳所高32回)  
 同 63年3月東京芸術大学音楽学部卒業  
 京都にて井上嘉久師に師事  
 平成4年9月親世流準職分に認定、独立

本欄は、随時の投稿欄です。連絡用にお使いください。

# 1961 = 高 = 1963

あ の 日 に も ど ろ う

## 昭和38年(膳所高11回)卒業30周年記念同窓会

- と き / 平成5年9月12日(日) 開会12:00頃の予定
- と ころ / ロイヤルオークホテル  
 大津市萱野浦(瀬田川東川畔)  
 TEL.0775-43-0111

●事務局 / 〒520大津市浜大津3-4-15 (株)北井工務店內 TEL.0775-25-1248・FAX.0775-25-8815

**予告**  
 多数のご出席を!

**JUNGIIDO**  
**第3号発行予定**  
**平成5年10月!**

同窓会にかかわる情報をお寄せください。  
 ■同窓会広報部会まで



★ファームイン(農家民宿)をめざして

富良野の大自然のなかで  
**芝田 剛さん**

昭和53年卒業(膳所高26回)

高校生活も残りわずか、周遊券片手に白銀の帯広に受験のため訪れた時、ずっと北海道に住み続けるんだらうな、となんの決意もないまま、ただぼんやりと考えていた。

そして大学卒業を目前に控え北海道に住めること、自営できること、畜産関係であること、そして、あまり莫大でない投資で始められる、などの条件から、養豚業を目指すこととなった。

1年半の会社勤め、さらに1年半の農家実習の後、念願の自営が始まった。そこでの4年間、結婚もし、子供も生まれ、経営的にまずまずであったが規模拡大の困難さから、将来への展望も開けず、悩んでいた所、現在の会社より誘いがあり、今サラリーマン養豚をやっています。

しかし、自営への思い断ちきれず、もっと地に足を着けた仕事をしたいと思い、ファームイン(農家民宿)を始めべく、現在準備中であります。

大きな自然に囲まれながら、世間の流れに流されず、逆らわず大地に根をおろした雄、優、勇、悠、裕、湧、遊(さすがワープロ、いっぱいである)たる、生活ができれば最高です。

ここで少々当地、上富良野の宣伝をさせていただこうかと思えます。北海道の中心部富良野より北へ30分旭川方面へ車を走らせたところに位置し、十勝岳連峰の麓にある、農業を中心としたまちであります。今も噴煙をあげ続ける十勝岳、自然の中の露天風呂、丘陵地帯の美しい田園風景、ラベンダーをはじめとする花々、秋の目にしみるような紅葉、そして、初心者からエキスパートまで楽しめる登山、様々なフィールドが広がっています。

私の宿も、年内完成を目指しております。ストレスのたまる仕事をしておられるみなさん、このような自然に囲まれ、土にまみれて仕事をし、ゆっくりとした時の流れをあげてみてみませんか。

●プロフィール

芝田 剛  
生年月日/昭和34年7月30日  
学歴/帯広畜産大学家畜生産科学科卒業  
元芝田養豚場経営者  
現上富良野農場長(養豚)  
出身地/滋賀県大津市中央



あの人は今...

近況  
**OB**  
報告



★初代の生徒会副会長

現在、婦人学級で活躍中!

**金原京子さん**

昭和24年卒業(旧大津)

昭和23年、私が県女5年生の時、学制改革で現在の6・3・3制となり、希望者は新制高校3年生に編入出来る事になりました。しかしその時の3年生は県女から50人、1クラスだけの淋しい編成となりました。

敗戦直後の当時の日本は軍国主義から民主主義へと急速に変わり、学校教育もどんどん民主化されて、初めて生徒会が発足しました。生徒が学校の運営面にまで参加させて頂けるという事など到底思いも及ばぬ事として、当時の私達にとりましては大変な驚きでした。しかしその反面まだ見ぬ物へのあこがれと好奇心の虜になった私は意を決して副会長に立候補しました。毎日放課後は生徒会室に集まり、先生のご指導を受けながら、みんなで頭を寄せ合って年中行事の内容や進行を検討し、評議会にかけける準備を致しました。暗中模索しながらもそれは自分達の意見が結集された充実したひと時でした。時たま市役所のGHQ(進駐軍)を訪れ、生徒会の行事報告を行い、それについての指導を受けたりしていた事を思い出します。

商業科の方が中心になって文化祭にバザーも行いました。物資が不足していた頃でしたが各戸から持ち寄った米や小豆、砂糖等でお汁粉を作ったり、安く仕入れたお菓子で利益を得、自分達の手で会の資金を作って感激した事などなつかしく思い出されて参ります。卒業式で生徒会功労賞を受けた時、私は貴重な体験をプレゼントされた最後の学生生活に心から感謝し、この贈り物を一生失う事なく大切に生かして行こうと決心しました。

私はトヨタ自動車に勤務する主人と結婚し、3人の子供に恵まれ現在も豊田市に住んで居ります。文化果つる地と言われたこの地に嫁して、私は自分のためにも学習の場が欲しく、公民館のお力添えを頂きながら仲間を募って、地域の方の学習のお手伝いをさせて頂きました。

婦人学級を作り健康をテーマとする学級が10年余継続したのを見ながら大いに満足して居ります。自主グループも沢山根づいて活発な活動を続けて居ります。私の力が少しでも役立ち、多くの友人に囲まれて有意義な人生を歩めるのも母校から頂いたプレゼントのおかげと改めて感謝している毎日でございます。

●プロフィール

金原 京子(旧姓前田)  
生年月日/昭和5年11月30日  
趣味/和裁、編物、短歌  
現住所/豊田市山之手7丁目29番地



がんばってます!

<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 代表取締役 大阪中央区南船場2-17-16 同光ビル6F TEL 06-2611-8889</p> <p>岡田 邦彦</p>	<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 代表取締役 草津市洪川1-3-5 TEL 0775-65-2020</p> <p>中村 喜和</p>	<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 代表取締役 大津市中央2-2-20 TEL 0775-22-2320</p> <p>奥村 清雄</p>	<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 代表取締役 大津市中央4-3-18 TEL 0775-24-6115</p> <p>小原 堅</p>	<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 伊吹医院 大津市蓮池町7-3 TEL 0775-24-6026</p> <p>伊吹 良恵</p>	<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 白井建築事務所 大津市中央3-1-25 TEL 0775-25-3933</p> <p>白井 勝好</p>	<p>昭和37年卒業(膳所高10回) 代表取締役 大津市大萱7-3-35 TEL 0775-45-3939</p> <p>阪口 明</p>	<p>昭和33年卒業(膳所高6回) 代表取締役 大津市におの浜3-3-1 TEL 0775-25-5789</p> <p>山極 元信</p>	<p>昭和33年卒業(膳所高6回) 松井歯科医院 大津市坂本4-14-8 TEL 0775-78-0012</p> <p>松井 成一</p>	<p>昭和59年卒業(膳所高32回) 能楽協会京都支部 親世流連職分 大津市藤尾奥町20-12 TEL 0775-22-5520</p> <p>吉浪 寿晃</p>
---	---	--	---	---	--	---	--	--	---





# 母・校・拜・見

## 練習帰りの“おかちうどん”

早春のある日曜日、母校の周りを歩いてみた。京阪膳所本町駅の正面には、美富士食堂、少し行くと、角には久保書店、その向こう角には饅頭屋さん、校門の前にはここにコピー屋さんが往時のまま（といっちは失礼か？）にあった。幾多の卒業生を見つけてきた校門脇の大きな木を見あげながら進むと、校地記と記した碑、膳所藩道義堂跡のしるし、甲子園出場記念植樹などがあり、間もなく100周年を迎える膳中、膳所高の歴史をあらためて感じる。

期末試験の前のためか、生徒の姿がなかったのでバックネット横の入口から校舎の中へ入ってみた。職員室の前の掲示板には私立大学合格者の名前が掲示されている。2階に上がってみると3年生の教室、戸が開いていたので中を覗くと、床の油の匂いが懐かしく在校時を思い出させてくれる。

かえり道、ちょうど昼時になったので、美富士食堂に立ち寄った。今も変わらぬ店主の真野さんご夫婦が忙しくがんばっておられた。この場所に店を構えて35~6年になるという。店の広さも当時の倍になっていた。お子さん達も立派に成人され銀行にお勤めとか。



練習帰りに空腹をいやしてくれた、餅と天かすの入った“おかちうどん”を注文しようとするメニューにない。たずねると“合格うどん”と名前を変えていた。注文すると出されてびっくり、雑誌、テレビで紹介されたというそのボリューム。それを見て「数日前には、わざわざ大阪から食べに来られた人がありました」と言って笑っておられた。

膳所高健児の成長を見つけて来られた真野さん、いつまでもお元気で…皆さんも一度寄ってみては。(山田)



- 上野滋子(東2) ・ 谷口啓司(膳10)
- 田中美津代(東4) ・ 佐田葉子(旧膳)
- 山田 勲(膳11) ・ 宮崎美恵(大3)
- 西谷智恵子(東2) ・ 高橋好乃(東4)
- 花坂多恵子(膳6) ・ 平井敦子(膳11)
- 服部 章(膳12) ・ 林 一雄(膳15)
- 岩崎則子(膳26) ・ 吉田 稔(膳26)
- 西川綾子(膳28)

●膳所公園の桜がきれいです。一度、出かけてみてください！

●穏やかな陽気に誘われて、ふと母校に出かけてみたくなるそんな今日、「JUNGI DO」第2刊をお届けします。相変らずの不出来は季節に免じてお許しください。よろしくお願いします。



## 平成四年度卒業式

湖面を渡る風にも春の息吹が感じられるようになった弥生3月、今年も卒業の季節を迎えて、本校でも全日制514名、通信制55名の計569名が新しく母校を巣立つことになりました。

卒業式は、3月1日本校体育館において挙行されました。当日は多数の来賓・保護者の臨席の下、まず卒業生全員が呼名を受け、各クラスの代表に卒業証書が授与されました。続いて、南池宜樹校長が「他人の心を思いやることのできる人になること、柔軟な考え方のできる人になること、そして常に人生の目標を高く掲げて、それに向かって努力を続けられる人になること、この3つを心に留めて、新しい人生を切り開いていってください」と饒の言葉を述べられました。最後に全員で「仰げば尊し」を斉唱して拍手で卒業生を送り出しました。例年どおり厳粛な中にも温かい心の通う卒業式であったと思います。

またこれに先立って、前々日の2月27日には本年度の同窓会入会式が行われました。新しく同窓生となる新入会員に対して、同窓会の会則とバッジが配布され、続いて岡角憲次副会長が同窓会を代表して、「同窓会は、利害得失の伴わない本音で語り合える仲間の集りです。母校愛という共通の心、絆を大切に、すばらしい先輩諸氏に恥じない優れた社会のリーダーを輩出する拠り所としてほしいと思います。」と歓迎の辞を述べられました。そのユーモアあふれるご挨拶に、緊張がみだった新入会員の間からも笑

## 心温まる交流〜通信制文化祭開催

「通信制って自宅にこもりきりで勉強しているの？」そう誤解している世間の人はいくつもあると思います。実は通信生も結構学校へ登校し、さまざまな行事を経験するのです。

去る2月7日、本校格技場(発表)と第3面談室(展示)を会場として、通信制の文化祭が行われました。参加者1000人余りです。規模は小さく、練習不足からレベルが高いともいえませんが、童話劇あり、学園劇あり、コーラスあり、教頭先生の日舞ありと、それなりにバラエティーに富んだものとなりました。日常生活の味を出す年配者の演技、舞台の上と観客席とのほのほとした交流は、通信制ならではのものといえるでしょう。

後半は「卒業生を送る会」となり、長年の労苦をたたえながら在校生が手渡す花束を、ひとりひとり受け取る卒業生の目頭には、きらりと光るものがありました。あと2年で幕を閉じる通信制、最後までこの輝きを保ちつづけてほしいものです。(野村正次)

いがおこり、和やかな雰囲気の内に入会式を終了しました。新しく同窓会員となった卒業生諸君のますますのご活躍を心から祈りたいと思います。

## サクラサク！主要大学合格者数

春風と共に、各地からうれしい便りが続々と届いています。まだ最終的な数字は集計されていませんが、現在わかっている主な合格者数をお知らせします。

大学	人数	大学	人数	大学	人数	大学	人数
国立大学	18名	京大	18名	京大	13名	京大	13名
北海道大	5名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
東北大	2名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
東京大	6名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
金沢大	11名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
静岡大	11名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
名古屋大	15名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
滋賀大・教	11名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
滋賀大・経	25名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
滋賀医大	13名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
京都大	47名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
(公立大学)		京大	2名	京大	2名	京大	2名
京府立大	4名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
大市立大	23名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
(私立大学)		京大	2名	京大	2名	京大	2名
慶応大	6名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
早稲田大	11名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
東理科大	12名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
京産大	31名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
京女大	36名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
京葉大	13名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
同志社大	105名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
立命大	114名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
龍谷大	75名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
関西大	78名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
関学大	50名	京大	2名	京大	2名	京大	2名
平成5年3月24日現在		京大	2名	京大	2名	京大	2名



## ハーバード大学総長、母校へ訪問

20日から日本を訪れている米ハーバード大学(南池宜樹校長)を訪問し、日本の教育事情を視察した。同校の生徒から、高校生の進路の選び方、進学塾の実態などについて話を聞いた。

この後、2年生の物理の授業を見学した同総長は「日本の学校は非常に高い成果を上げています。(教育は)それぞれ文化に依存しており(米に)取り入れられるかどうか探りたい」と話した。

日本経済新聞(3月23日)より

## 投稿お待ちしています

俳句、短歌、詩、エッセイ、写真、etc. このごろ思うこと、最近心に残ったことなど、かたちにのらわれずふるっての投稿お待ちしております。(同窓会広報部まで)

## 編集後記

●春、桜、タンポポ、チューリップ…。全てがいにいに眠りから醒める春。入学式、入社式。お花見に新歓コンパ(?)そして新しい仲間。

●何かが新しく始まる予感をいっばいに乗せて、スプリング・ハズ・カム!

●希望に胸をときめかせて、道義堂の門をくぐった春は何年前のことだろう。

●新しい教科書のインクの匂いにつつまれて「がんばろう」と誓ったのは遠い遠い昔のことか。

